

第5章 参考文献

■ 本章の目的

第5章では、参考文献の記述方法とその特性について学びます。

参考文献は学術的な評価を得るために、必須の記述事項です。同時に、他の資料に載せられている参考文献は、その特性を理解していれば、自分が興味関心のある情報を集める際に有力な手がかりともなります。

この章では、まず自分が参考文献を記述する方法を学び、次に参考文献から得られる有用な関連資料情報について学びます。

1. 参考文献リストを作成する

1.1 参考文献とは

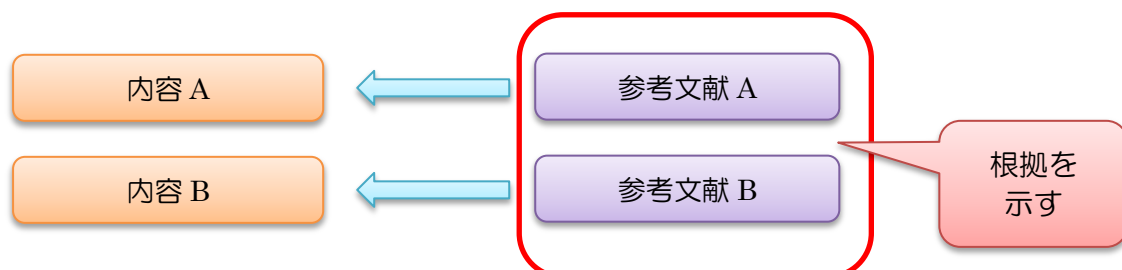
みなさんが様々な資料から集めた事実・データも、ただレポートの中を書くだけでは、何を根拠にしているのか読み手には分かりません。それが客観的な事実であることを示すには、その事実・データの根拠を明示する必要があります。資料に書かれていた内容を批判する場合も、それがどこに書かれていたのかを読み手に伝えなければなりません。

そこで、「レポートで示したこの内容は、この資料に載っていたことです」ということを読み手に伝えるために書くのが参考文献です。

参考文献がきちんと示されていれば、読み手は「これを根拠にして言っているのか」と納得することができます。また、疑問に思うことがあった場合には、その参考文献まで遡って内容を確認することもできます。逆に、他の資料に載っていたデータなのに参考文献として示さないでいると、根拠があやふやと思われるだけでなく、データの盗用を疑われる恐れもあります。

自分が努力して集めた結果を正しく読み手に評価してもらうために、参考文献は必ず参考文献リストとして記載するようにしましょう。

なお、それぞれの内容と参考文献をピンポイントに結びつけるときは「引用」という方法を使います。これについては第6章で詳しく説明しています。



1.2 参考文献の書き方

参考文献を示すといっても、読み手に分からないような書き方をしては意味がありません。逆に、こういうタイトルで著者はこの人で……と全部書こうとすると、とても手間がかかってしまいます。

そこで参考文献の書き方には、一定のルールがあります。最初に著者名を書き、次に『』付きで書名を書き……といった感じです。これは、図書や雑誌論文、ウェブサイトといった資料の種類によって異なります。

なお、ここでは一般的な書き方を説明しますが、将来論文を投稿する際には、投稿先によって形式が規定されている場合もあるので注意してください。

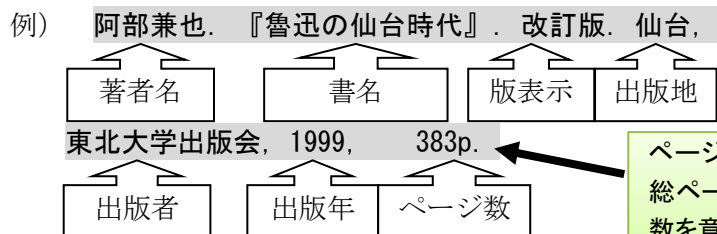
<参考文献リストの例>

- 1) 堂本暁子, 岩槻邦男編. 『温暖化に追われる生き物たち』. 東京, 築地書館, 1997, 421p.
- 2) 宮本憲一. 環境問題と現代社会: 維持可能な発展と日本の経験. 『環境と生態系の社会学』. 岩波書店, 1996, p.13-55.
- 3) 原沢英夫. 顕在化しつつある温暖化影響とその予測. 「資源環境対策」. 1998, vol.34, no.5, p.448-454.
- 4) 独立行政法人国立環境研究所. 地球温暖化と健康.
< <http://www.nies.go.jp/impact/index.html> >, (参照 2009-12-19).

<文献の種類ごとの例>

① 図書

著者名^{ピリオド} . 『書名』^{ピリオド} . 版表示^{ピリオド} . 出版地^{カンマ} , 出版者^{カンマ} , 出版年^{カンマ} , ページ数^{ピリオド} .



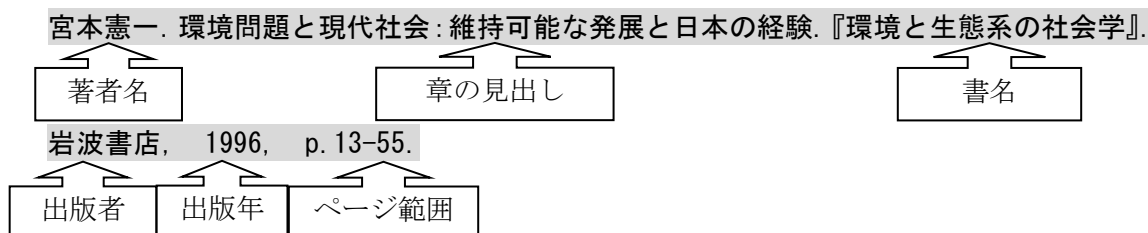
ページ数を示す「p」は、Op.という形では総ページ数、p.Oという形では開始ページ数を意味します。

通常、初版のときは版表示を記載しません。そして、多くの場合、総ページ数や出版地は省略されます。また、複数の冊子全体を示す場合は、冊数を記載します。

省略した例) 森憲作. 『脳のなかの匂い地図』. PHP 研究所, 2010.



図書の一部を参照した場合は、参考文献リストの例 2)のように章の見出しやページ範囲を記載します。章の見出しは著者名と書名の間に入れて、最後にピリオドを入れます。



② 雑誌論文

著者名^{ビリオド} . 論文タイトル^{ビリオド} . 「雑誌名」^{ビリオド} . 出版年^{カンマ} , 巻数^{カンマ} , 号数^{カンマ} , ページ^{ビリオド} .



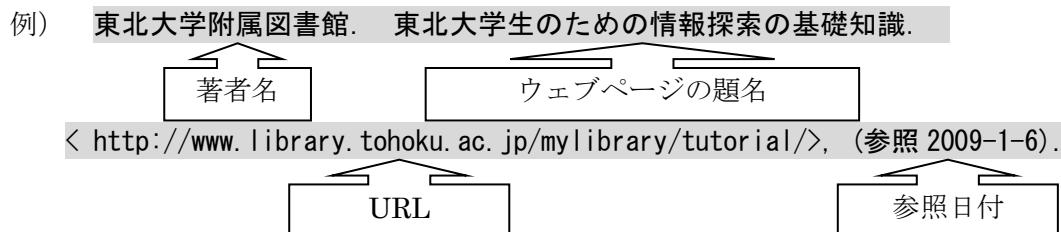
通常、雑誌はその巻号全体ではなく、論文単位で記載されます。図書とは以下のような点で区別できます。

- 1) 巻号数が付与されている
- 2) 出版者の記述がない
- 3) 開始ページ数が示されている

図書の一部を参照した場合との区別が難しいですが、巻号が明記され、出版者がいないことで判断できます。また、外国語の雑誌名はよく省略形で記載されるので注意が必要です。

③ ウェブサイト

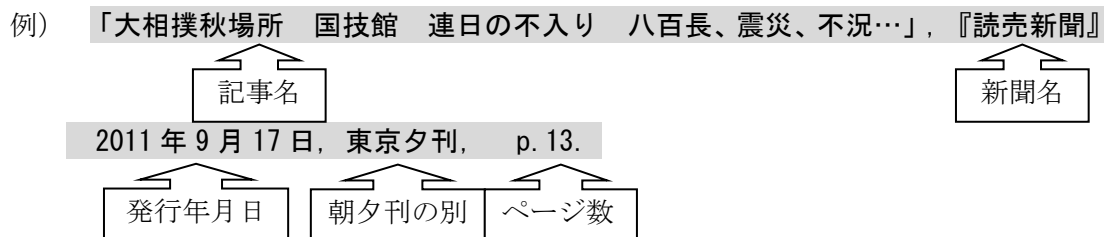
著者名^{ビリオド} . ウェブページの題名^{ビリオド} . < URL > , (参照日付)^{ビリオド} .



ウェブサイトを引用する場合は、ウェブ上の住所を示す URL が明記されています。サイト名は、著者名と同じ場合は多くの場合省略されます。また、ウェブサイトは変更されやすいため、厳密に記述する場合は、参照した日付がカッコで付記されます。

④ 新聞記事

執筆者名^{カンマ} , 「記事名」^{カンマ} , 『新聞名』 発行年月日^{カンマ} , 朝夕刊の別^{カンマ} , ページ数^{ビリオド} .

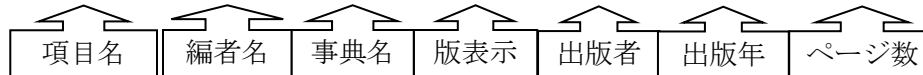


記事の執筆者名が不明な時や、朝夕刊の区別がない新聞の場合は、それらの項目は省略されます。

⑤辞書・百科事典の項目

項目の執筆者名^{ビリオド} . 「項目名」^{ビリオド} . 事典の編者名^{ビリオド} . 『事典名』版表示^{ビリオド} . 出版地^{カンマ} ,
出版者^{カンマ} , 出版年^{カンマ} , ページ数^{ビリオド} .

例) 「相撲」 . 新村出 . 『広辞苑』第6版 . 岩波書店 , 2008 , p. 1523 .



項目の執筆者名が不明な場合は、省略可能です。また、図書と同様に出版地は省略されることが多いようです。

1.3 参考文献作成のタイミングと質

参考文献のリストは、最後に作らなければならないわけではありません。レポートを作成している途中でも、テーマを絞り込んで扱う問題を見つけるとき、着眼点を探るとき、自分の仮説を証明する根拠を探るとき、それぞれの時点で自分が見つけた資料はひとまずリスト化しておきましょう。そうすれば、何度も同じような検索をする必要がなくなります。中には結局読まなかった資料や、レポートに使わなかった資料もあるかもしれませんが、そういったものは最後に取り除けば良いのです。

参考文献は、あなたのレポート作成過程を示すものでもあります。参考文献に、そのテーマにとって必須の資料や、重要な文献が漏れなく記載されていれば、あなたがレポートの作成過程において読むべき資料を正しく探し出していること、学術的な根拠のもとに段階を経て結論に至っていることを、参考文献がリストで証明してくれます。

つまり、参考文献の質が、あなたのレポートの評価に大きく関わるのです。

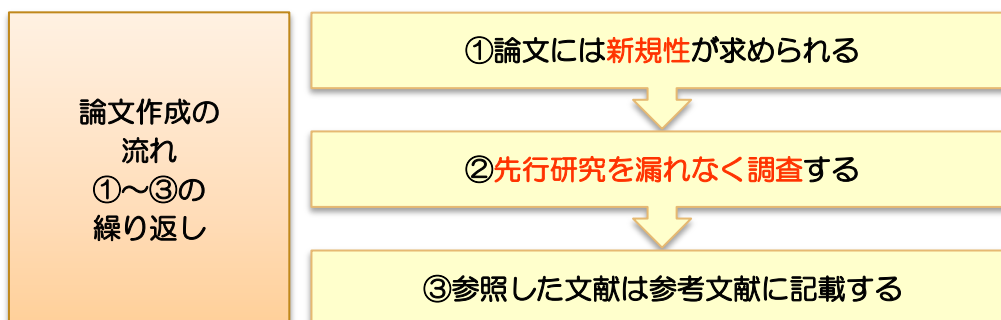
2. 参考文献の情報をつかった検索

さて、これまでは参考文献を記述する時について学びましたが、参考文献は、みなさんが検索のキーワードとして利用することもできます。

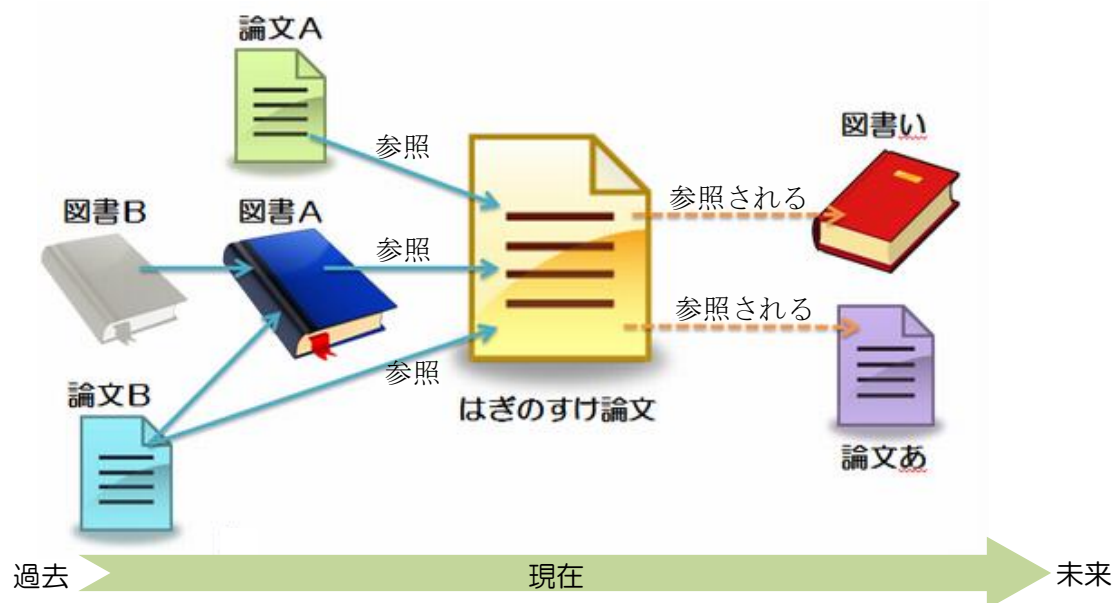
学術的な図書や雑誌論文には、その図書や論文を作成するにあたり参照された文献がきちんと参考文献として書いてあるはずですが、この参考文献の情報をつかって検索を行うと、参考文献の特性から、通常のキーワード検索とは異なった角度の検索結果が得られます。

2.1 参考文献情報の特性 -論文同士の関係-

研究者が論文を作成する際は、必ず論文のテーマに関する先行研究を漏れなく調査し、その結果を参考文献に記載しています。



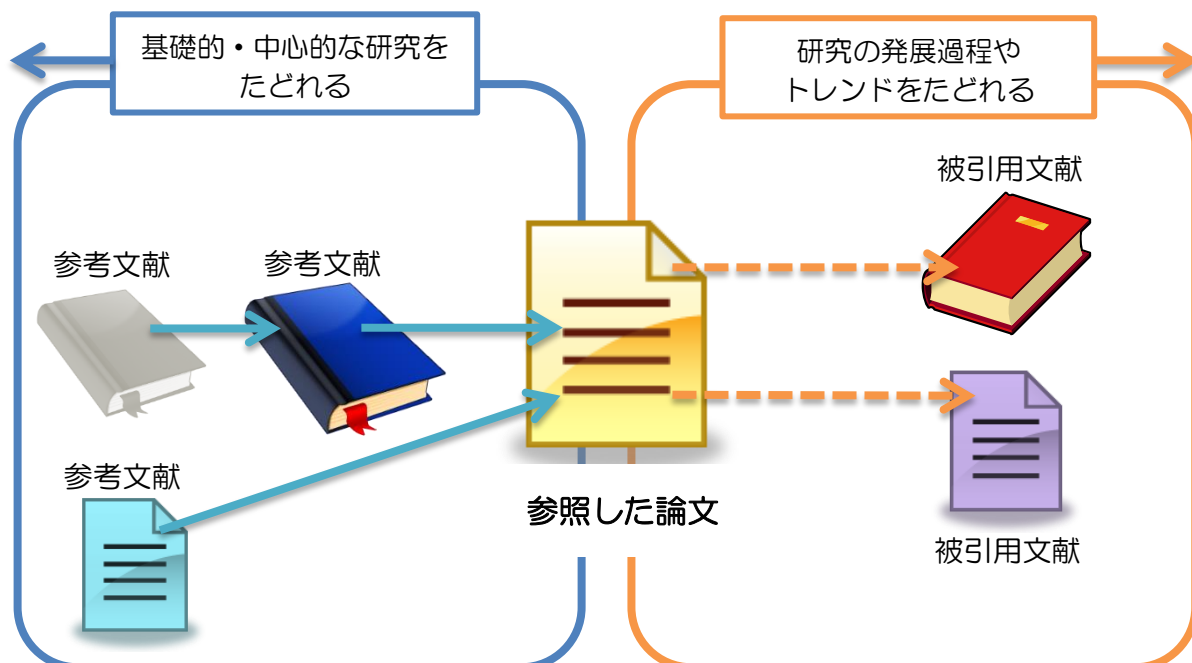
そのため、1つの作成された論文を中心に考えると、次の図のような参照する・されるという関係が生まれます。この時、注目している論文が参照した資料を参考文献、注目している論文を参照している資料を被引用文献とよんでいます。



はぎのすけ論文を中心に考えると

- ・ 『論文A』は、はぎのすけ論文の参考文献。
- ・ 『図書い』は、はぎのすけ論文の被引用文献。

これらの関係に注目し、例えば、ある論文の参考文献を参照すると、その研究分野の基礎的・中心的な文献リストを得ることができます。また、参考文献から参照された関係を辿っていくと、その研究分野の発展過程や最新のトレンドを把握することができます。



2.2 『CiNii Articles』での参考文献による検索

データベースの中には、検索した論文の参考文献リストを表示してくれるものがあります。また、中には参考文献リストに掲載されている資料名から探す「参考文献検索」機能を備えたデータベースもあります。これらの機能を備えている代表的な日本語論文データベースとして『CiNii Articles』があげられます。

①『CiNii Articles』を使って、ある論文に掲載されている参考文献を探す場合は、まず通常通り論文検索を行い、論文の詳細画面から辿っていきます（『CiNii Articles』データベースの詳しい使い方は、第3章を参照してください）。

論文の詳細画面から

The screenshot shows a web browser displaying a detailed article page on the CiNii Articles website. The page title is '力士の外傷・障害の現状：場所中の相撲診療所受診力士の検討' (Current status of injuries and disabilities of sumo wrestlers: A study on sumo wrestlers who visited the clinic in the arena). The authors are 大谷 俊郎 (Shunro Ohtani) and 山田 公雄 (Kunio Yamada). The journal is '臨床スポーツ医学 = The Journal of Clinical Sports Medicine' 16(2), 129-132, 1999-02-01. The page shows a list of references and cited works. A callout box labeled '参考文献' (References) points to the '参考文献: 5件中 1-5件を表示' (References: 5 items, 1-5 items displayed) section. Another callout box labeled '被引用文献' (Cited Works) points to the '被引用文献: 1件中 1-1件を表示' (Cited Works: 1 item, 1-1 item displayed) section. The cited work is '大相撲力士の膝前十字靭帯損傷の検討：靭帯再建例と保存治療例との比較' (Study on anterior cruciate ligament injury in sumo wrestlers: Comparison of ligament reconstruction and conservative treatment). The authors are 清水 祐則 (Yunori Shimizu), 立石 智彦 (Tomohiko Tachibana), 長村 寛 (Hiroyuki Nagamura), 本杉 直哉 (Naoyuki Motobayashi), 中川 照彦 (Teruhiko Nakagawa), and 土屋 正光 (Masamitsu Tsuchiya). The journal is '日本整形外科学会雑誌 = Japanese Journal of Orthopaedic Sports Medicine' 30(2), 119-123, 2010-05-31. The page also includes buttons for '他のフルテキスト検索をみる' (View other full-text searches), 'OPAC' (Online Public Access Catalog), and '参考文献5件' (5 references).



注意① CiNii に収録されているデータの範囲でのみ表示されます。

※すべての参考文献・被引用文献データが収録されているわけではありません。

注意② 学内のネットワーク利用時のみ表示されます。

※学外から利用する際は、CiNii のサイトライセンス ID 登録が必要となります。

詳しくはヘルプを参照するか、図書館カウンター、もしくはレファレンスデスクまでおたずね下さい。

②参考文献そのものを検索対象にしたい場合は、「参考文献」欄で検索を行います。

参考文献の検索

The screenshot shows a search interface with tabs for '論文検索' (Article Search), '著者検索' (Author Search), and '全文検索 (beta)' (Full-text Search (beta)). A search bar is at the top. Below it is a '詳細検索' (Detailed Search) section with fields for '論文名' (Article Title), '著者名' (Author Name), '著者所属' (Author Affiliation), '刊行物名' (Publication Name), 'ISSN', '巻' (Volume), '号' (Issue), 'ページ' (Page), and '出版者' (Publisher). The '参考文献' (Reference) field is highlighted with a red box and contains the text '公傷制度について'. Below the fields are radio buttons for search options: 'すべて' (All), 'CiNiiに本文あり' (Full text available in CiNii), and 'CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり' (Full text available in CiNii, or link to a linked service). A '検索' (Search) button is at the bottom.

検索結果: 1件中1-1を表示

新しいウィンドウで開く | 実行 | すべて選択 | 20件ずつ表示 | 被引用件数:多い順 | 表示

大相撲力士の膝前十字靭帯損傷の検討：靭帯再建例と保存治療例との比較
清水 禎則, 立石 智彦, 長瀬 寅, 本杉 直哉, 中川 照彦, 土屋 正光
日本整形外科学会雑誌 = Japanese journal of orthopaedic sports medicine 30(2), 119-123, 2010-05-31
[他のフルテキスト候補をみる](#) [OPAC](#) [参考文献7件](#)

関連著者
中川 照彦
土屋 正光
本杉 直哉
清水 禎則
立石 智彦
長瀬 寅

参考文献欄に入力した資料の、被引用文献が検索できます。
(入力する資料は、論文、図書、ウェブサイトなども対象となります。)

被引用文献

参考文献検索機能を備えたデータベースはCiNii Articles以外にもあります。検索対象となる文献の言語や分野によって異なりますので、詳しくは図書館カウンター、もしくはレファレンスデスクへおたずねください。

参考文献

- 1) 東北大学附属図書館編. 『東北大学生のための情報探索の基礎知識. 基本編』.
東北大学附属図書館, 2010, p. 22-23.
- 2) 泉忠司. 『「論文&レポート」の書き方: 90分でコツがわかる!』. 青春出版社, 2009, p.221.
- 3) 高崎みどり編著. 『大学生のための「論文」執筆の手引』. 秀和システム, 2010, p.216-217.

第5章 実習問題

参考文献の情報から検索をする

【1】①～④の項目に対応するものを傍線部あ～おから選びましょう。

ScaifeM, BrunerJS. The capacity for joint visual attention in the infant.

あ

い

「Nature」 . 1975, 253, 265-266.

う

え

お

- ①著者名（執筆者名）..... 答え
②雑誌名 答え
③巻または号..... 答え
④年..... 答え

【2】傍線に対応する項目として、正しいものを下記から選んで下さい。

木下康仁(2003): グラウンデッド・セオリー・アプローチの実践一質的研究への誘い 弘文堂

選択肢 ①著者名（執筆者名） ②論文名 ③雑誌名 ④図書名

答え

※参考文献の記述方法（項目の並び順や括弧の有無など）は、分野や学会誌によっても異なりますが、資料を探すために必要な、最低限の項目は記述されています。

【3】括弧内の言葉のうち、文意に沿った言葉をえらびましょう。

設問【2】の資料は（ 図書 / 雑誌論文 ）なので、（ CiNii Articles / 蔵書検索[OPAC] ）で検索をすると、東北大学にあるかないか、所蔵している場合はどこにあるのが分かる。

※参考文献の情報を正しく読み取れないと、資料にあった検索ができなくなってしまいます。まずは、図書か雑誌か、それ以外の Web サイト等の情報なのか、情報源の種類を確認しましょう。

【4】以下のうち、正しいものに○、間違っているものに×をつけましょう。

- ①文献データベースの中には、参考文献名から検索できるものがある。（ ）
②被引用文献をたどると、過去の研究がわかる。（ ）
③参考文献リストに挙げられた論文をみれば、その研究の最新状況がわかる。（ ）
④参考文献リストが長くなるので、レポートを作成する上で参照した文献の一部だけを載せた。（ ）